

## 富岡直三先生のご逝去を悼む



平成12年9月20日、本会会員である、東京都立雪谷高等学校教諭 富岡直三先生が御他界されました。享年44歳でした。

先生は昭和53年3月、東京理科大学理学部数学科をご卒業されました。そして、都立府中工業高等学校、都立玉川高等学校で教鞭をとられ、都立雪谷高等学校が最後の教鞭の場となりました。

私と先生とのお付き合いは、東京都工業高等学校数学教育研究会の事務局として先生がご活躍されていた頃、私も同研究会で勉強をさせていただいていたことに始まります。その後、東京都高等学校数学教育研究会（略称都数研）の研究部学習指導法分科会を中心に、東京理科大学数学教育研究会、日本数学教育学会研究

部幹事として、共に高校数学において教育を実践する立場から、その指導法の研究と修養に取り組む仲間として、勉強させていただきました。

その間、先生の数学教育に対する実績が評価され、昭和63年には東京都教育委員会の研究員（数学）を委嘱され、優れた成果を残されました。

また、都数研の学習指導法分科会の世話人として、会の発展にご尽力され、「考え方班（数学的な見方や考え方のよさを生徒に実感させ、数学に興味・関心をもたせる指導教材の開発や指導方法を研究するグループ）の創設」や後進の指導にもあたられました。

先生は多くの研究会で中堅としてご活躍されていたこともあり、数学教育の研究大会である平成2年、平成10年の関東大会、平成7年の全国大会平成12年の世界大会の運営にも深く関り、数学教育の発展に大きく貢献されたことを忘れることはできません。

先生は温厚なお人柄の中に秘めた情熱をお持ちであり、生徒が生き生きと数学学習に取り組むような授業実践を追及し続けておられました。先生の訃報に接し、友人を失った無念さを強く感じております。

富岡直三先生のご冥福を衷心よりお祈り申し上げます。

（東京都立墨田工業高等学校教頭 竹村 精二）

## 富岡先生のご逝去を悼む

富岡さん、君はなぜ逝ってしまったのか。44才という若さで、君はなぜ逝ってしまったのか。働き盛りの君が…最愛の妻子を残して……愛する生徒と別れて…無念だったろう。心残りだったろう。

やや小柄な体にあふれんばかりの闘志と情熱を秘めていた富岡さん。都数研で、日数教で、理数研で、都の研究員として、……さまざまな分野で活躍を続けていた君。こよなく数学を愛し、数学教育を愛し、“新時代の数学教育”の創設をめざして素晴らしい力を発揮してこられた君。わけても日数教では、研究部高校部会の副主任として企画・運営の重責を担われていた君。月例会での議題を手際よく整理し、意見をまとめていく司会ぶりは板についていた。日数教と都数研共催の大学入試懇談会でも、真

っ先に会場にこられて準備に大忙しだった君。また、I CME 9では、戦後日本の高校数学の必修内容をまとめて英訳し、諸外国に紹介しようと奮闘されていた君。昨年の春の研究員発表会では、都研の会場で、新科目「数学基礎」の教材例を樂しげに提示し、説明されていた君。あの日、あの時の君のさわやかな笑顔が忘れられない。

数学教育の危機が叫ばれ、新しい数学教育が求められている。理数研でもそれに向けての研究が緒に就いた今、これからこそが富岡さんの活躍舞台、君のあの情熱が、あのエネルギーが、あの行動力が、ぜひとも必要とされる時なのに、君はいない。なぜ君は急に逝ってしまったのか。なぜ君が事故に遭わねばならなかったのか。

君の通夜の日、雨の中で“なぜ…、何故…”と何度も問い続けていた。今も…。答えの得られないこの問…。惜しんでも惜しみたりない貴重な人を失ってしまった。言いやうのない悲しみに身が震える。ご冥福をお祈り申し上げるばかりである。

“何故逝きし 君待つ庭に 秋の雨” (風間 賢士)

### 富岡先生のご逝去を悼む

平成12年9月20日、東京都立雪谷高等学校教諭富岡直三先生が御他界されました。私と同じ年で、享年44歳でした。

私と先生とのお付き合いは、東京都工業高等学校数学教育研究会で先生がご活躍されていた頃、私も同研究会で勉強をさせていただいたことに始まります。その縁で、東京都高等学校数学教育研究会（略称都数研）の研究部学習指導法分科会にお誘いしました。その後、十数年間共に研究活動を続けてきました。

この十年間は、学習指導法分科会の世話人として、お互いに会の発展に寄与してきました。前世話人の竹村精二先生より、考え方班および不思議調査班の世話人を私が務めて、二人で会の両輪として学習指導法分科会を発展させるように依頼されました。その間、富岡先生のお人柄から、多くの優秀な仲間をえて、研究を進めると同時に、困ったときには常に相談にのっていただきました。

この二年前には、お互いに二度目の東京都教育委員会の開発委員を務めました。富岡先生は、「数学基礎」に関する実践的な教材開発を研究し、今後の数学教育に大きく貢献される業績を残しました。

日数教大会では、日数教研究部幹事副主任である富岡先生の企画で、多くの研究仲間と宿をともし親睦を深めてきました。昨年の秋田大会では、先生の運転で、数日間を共にした思い出を生涯忘れることができません。また、今年のI CME 9においても、先生が諸外国の人達に情熱を持って日本の数学教育を紹介していたことを昨日のように思い出されます。

先生の訃報に接し、長年の友人を失った悲しみと共に、日本の数学教育の優れた実践的指導者である先生を失った無念さを強く感じております。先生の人柄のよさは、この書面では言い尽くせません。心の支えである富岡直三先生に感謝すると同時にご冥福を心よりお祈り申し上げます。(東京都立墨田川高等学校 村田 緯和雄)

### 富岡先生を偲んで

突然の電話の知らせに驚きました。あまりに突然で信じられず、驚きの中で、しば